

## 夏期の間に「工場の再確認（工場点検の実施）」のご提案

JASMEQ顧問 中村 優

関東の梅雨明け宣言も出され、いよいよ本格的な暑さが予想されます。この時期は、お盆や旅行そして食欲減退などから、一般的に食品の売り上げが落ち工場の生産も減る時期です（この時期だからこそ、生産が増加する職種も一部にあります）。

そこで、今回は「前年度のまとめと次年度の計画について」提案しましたので、今回は、この時期を利用して、「工場点検を実施」してみて「工場の再確認（実態の把握）」されたいかがでしょうか？ 良く判っているよと言う工場もあると思いますが新たな発見が必ずあると思います。

### 1、点検を実施するにあたって

- ・点検は品質管理の担当者が通常行いますが、この機会ですから、各部署の担当者の参加もしてください
- ・部署の担当者は、自部門+他部署1箇所を点検します。他部門を見ることにより、違った目線での点検が出来ます
- ・実施は一斉にするのが理想ですが、作業時間の関係で出来ない場合は、一定の期間を設けて実施するのも良いと思います

### 2、どこを点検するか

#### 1)人の行動を確認する

- ①工場に来てから製造現場入室までの「ルール」が守られているか確認する  
更衣室での外着・内着の管理、健康チェック、ローラー掛け、手洗い手順、工場内の持込品等
- ②製造現場で、手順通りに行っているか確認する  
製造手順、衛生管理、労働安全管理、異物混入防止策等の点検
- ③作業終了後、洗浄・清掃・保管管理の点検

#### 2)施設の確認する

- ①工場の外周りを点検して、虫の発生元が無い点検（雑草、水溜まり、排水溝の汚れ等）  
外壁のヒビや破損等の確認
- ②工場内では通常の5S点検他、以下の所も点検してください
  - ・空気汚染となる、換気（入出）装置の噴出し口や給排気管内の点検
  - ・虫の発生となる、「床の水たまり」「排水口や下水管の汚れ」「配電盤やスイッチBOX内の汚れ」の点検
  - ・壁に付着したカビや汚れ（湿気の多い所や、機械設置場所の裏）
  - ・不要物の撤去（机の中や備品庫の中）。1か月以上使用しない物が無いか。  
現場で、「手袋・マスク・ペーパータオル他、1か月以上分の在庫」は無いか
  - ・薬剤関係は「適切な保管」「入荷・使用量の把握」「適切な取扱い」がされているか

### 3、点検が終わったら

- ・問題点を各工程別分且つ、危害要因（ハザード）の生物的（病原微生物など）、化学的（洗浄剤・消毒剤等）、物理的（ガラス片・金属片等）に分けて、重要度の高い順に並べます
- ・低減・除去に必要な管理方法を定めます

### 4、問題の改善に当たって

- ・当然、重要度の高いもの（人体被害となるもの）を優先して改善します
- ・工事期間や経費の面もあり、全てを改善するには時間が要すると思いますが、進捗を日常的に把握し、改善事項を曖昧にしないことです。

## 5、もう一つの提案

日頃忙しくて学習会が実施出来ない工場は、この機会に是非行ってください。

テーマは何でも良いですが、9月以降は年末に向け忙しくなり、商品事故の発生率も多くなりますし、また、ノロウイルスによる食中毒及び感染予防の対策の必要性など、これらのテーマも含め検討してみてください。

※限られた紙面の都合上、工場点検の詳細を載せることは出来ませんが、「工場点検」と「従業員教育」を工場に合せたやり方で実施してみてください。判らない事がありましたら、お問い合わせください。

以上

### <編集後記>

■先般、システム開発関連でしたが「ヒューマンエラーに規格をはめる？」のテーマにつられて、あるセミナーに参加してきました。結論は「現状では、ヒューマンエラーの規格化(実効性獲得)には多方面からのアプローチが必要・・・」とのことに「落ち着いた＝国際的作業は中断し継続」と受け止めました。

ただ、<ダブルチェックは「2」ではない>との項目の内容は、食品製造のQC現場にダイレクトに該当する課題として整理されていました。

・本来の「ダブルチェック」とは「2回チェック」ではない⇒2回チェックはむしろ「他人まかせになる」「半々に仕事を分ける」などの弊害でしかない。

・真の「ダブルチェック」とは、ボケとツッコミに役割分担しツッコミ式チェックをすること⇒なぜに答える形式と役割分担。

・自己客観視できるようにすること⇒○×だと、習慣化されたり、大きな変化：異常がないかぎり○になってしまう。何個か何時何分何度か等「状況を答えさせる」ことがポイント。

「ダブルチェック」とは「一人のチェックを確実にするためのもう一人」である。

■色々な職種や規模も違うので、どのような内容が品質改善になるかいつも悩みます。少しでも工場のお役に立てればと思っています。判らないことがあれば気楽に相談ください。

■JASMEQ「第7回商品事故削減会議」の開催を2016年11月11日(金)14時頃で進めています。講演の内容については、前回の商品事故削減会議でのアンケート結果を踏まえて検討していきます。

日程・講演の詳細が確定しましたら、正式に案内させていただきます。多くの方の参加をお待ちしております。

■皆様には、BCCでお送りしていますが、取引関係者及び関連会社の関係者への送付先追加希望(メールアドレスをお知らせください)がありました紹介下さい。(JASMEQ 監物・中村)

協同組合JASMEQ(ジャスメック) 監物今朝雄・中村優

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-3-4 出光新宿ビル 4階

Tel 03-6205-6677 Fax 03-6457-6759

E : [k.kenmotsu@jasmeq.com](mailto:k.kenmotsu@jasmeq.com) E : [m.nakamura@jasmeq.com](mailto:m.nakamura@jasmeq.com)

皆様のご意見、投稿をお待ちしています。